

欧州委員会、新たなイノベーション指標として「イノベーション出力指標」を開発

2013年9月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会は、9月13日、新たなイノベーション指標として、「イノベーション出力指標（Indicator of Innovation Output）」を開発し、この指標に基づく、欧州連合（EU）加盟国内外でのイノベーション出力に関する実績の程度の比較結果をプレスリリースした。

革新的な産業セクターに由来するアイデアが市場化に成功することは、より良い雇用を供給し欧州の競争力を強化するものであるが、イノベーション指標は、このアイデアの市場化の成功の度合いを測定するものであり、EUの首脳陣の要請を受けて、各国のイノベーション政策を比較するために開発された指標。当該指標によれば、EU加盟国間においては依然として著しい差異が見られるが、国際比較においては、日本や中国といった最もイノベティブな国々には遅れをとってはいるものの、EUは全体として良い実績を上げていると本プレスリリースは報じている。

イノベーション出力指標は、EU加盟国を通じた幅広い範囲のイノベーション出力を示すもの。2010年のEUでの平均値を100として、2010年及び2011年の各加盟国のイノベーション出力の程度は以下のグラフで示され、スウェーデン、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルクがイノベーションから最も多くの成果を得ているとされている。



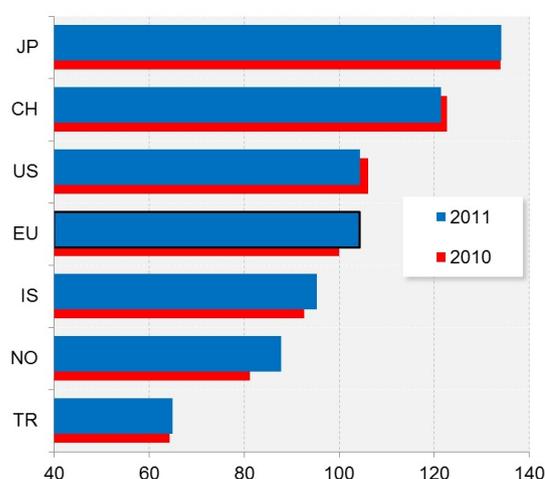
本プレスリリースによれば、知識集約型の産業セクターの占める割合が高い経済であること、イノベティブな企業が急速に成長していること、高い水準の特許取得や競争力のある輸出がなされていることなどのうち、複数又はすべての点において成功しているEU加盟国が、その結果として当該指標についてトップにランクされている。

イノベーション出力指標の新規な特徴は、イノベーション出力に注目している点であり、当該指標は、先に欧州委員会が開発した、欧州諸国のイノベーションの実績を比較する“イノベーションの成績表”とも言うべき「イノベーション・ユニオン・スコアボード」等を補完するものであると本プレスリリースは報じる。

イノベーション出力は幅広いものであり、産業セクターごとに異なるところ、イノベーション出力指標は、それぞれの関連性の観点から選ばれた以下の4つの要素を基礎とする。

- ・ 技術革新（特許によって測定）
- ・ 知識集約型の活動における雇用（全雇用に対する割合として測定）
- ・ 知識集約型の商品及びサービスの競争力
（先端及び中位技術の貿易収支が全貿易収支に寄与する度合いと、全サービス輸出のうち知識集約サービスの占める割合の両方に基づく）
- ・ イノベティブな産業セクターの急速に成長する企業における雇用

本プレスリリースは、イノベーション出力に関するいくつかの非EU諸国との比較によれば、EUは全体として良い実績を上げているところ、日本及びスイスの実績は明らかにEUをリードしている一方で、米国の実績とは概ね同等である旨、以下のグラフに基づいて説明している。



本プレスリリースと同日付けで発した欧州議会、EU 理事会等宛ての文書において、欧州委員会は、当該指標が欧州 2020（EU の 2020 年までの戦略）及びそのイノベーション・ユニオン政策に沿って、政策立案者がイノベーションを実現しやすい環境を創造する一助となるであろうと結論付けている。

— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[Commission launches new innovation indicator](#)

— 欧州委員会の発した欧州議会、EU 理事会等宛ての文書は、以下参照 —

[COMMUNICATION FROM THE COMMISSION TO THE EUROPEAN PARLIAMENT, THE COUNCIL, THE EUROPEAN ECONOMIC AND SOCIAL COMMITTEE AND THE COMMITTEE OF THE REGIONS Measuring innovation output in Europe: towards a new indicator \(PDF\)](#)

— イノベーション・ユニオン・スコアボードについては、以下参照 —

[Industrial innovation: Innovation Union Scoreboard](#)

— 「イノベーション・ユニオン・スコアボード2013」に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州委員会、「イノベーション・ユニオン・スコアボード2013」を公表（2013年3月27日）（PDF）](#)

(以上)